

活動 植物観察

土の感触を十分に味わい、触れることを楽しむ。様々な発見をしていく中で、疑問をもつ。

準備したもの スコップ、花の苗、鉢植え

○活動内容

新しく出来た畑の土を、スコップやカップを使って掘る、削る、山を作るなどして、遊びながら耕す。手で土を触り、団子を作るなどして固めていき、土というものの感触を知る。土をどう使って遊ぶかを自分たちで考えて試していく。土に触れていく中で、様々な発見をし、疑問を抱く。

○保育者の問いかけやアプローチ

・土に触れるのが初めての子もいたようだったので、触ってみてどうだったかを聞いた後、砂場の砂とはどう違うかを問いかけて、比べて発見ができるようにしたところ、匂いや色、柔らかさの違いに気付く子がいた。

・1度目の活動で畑の土がとても固く子どもの力では掘り起こすことが難しかったため、2度目を行う際には保育者があらかじめ掘り起こした土も用意し、柔らかい状態にしておいたことで、子どもは「何でこんなにフワフワなんだろう？」「このフワフワの土をもっと作ってみよう！」と自分たちで、フワフワの土を作ろうとしていた。そこから、花の苗を植える植木鉢の土を作る為に、“お花のためのお布団”として、「フワフワのお布団にしてあげないと！」と、一生懸命フワフワの土を作っている姿もみられた。

・子ども一人一人の発見を共有するために「みんなに発見したことを知らせてあげようか？」と提案すると、その子なりの言葉でクラスの子に説明をして知らせる姿が見られた。その話を聞いて興味をもった子は一緒に同じ行動をとっていたが、興味がわかenかった子は、話を聞いただけで違うことをしていた。

○子どもの様子

土が固くて掘り起こすことが難しかったが、どうやったらいいかを考えた末、削り取るということになり、スコップやカップを使って、力いっぱい削り取っていた。花の苗を植えるための土を作るのに、自分でカップに土をつめて、スコップで削り落としてフワフワの土を作り出している子がいた。それを見た他の子が、ちゃんとフワフワになっている様子を確認して、自分も同じようにやってみようとする姿が見られた。苗を植える際に、「これでフワフワのベッドになったね！」と自分たちで土を作ることが出来て満足している様子だった。

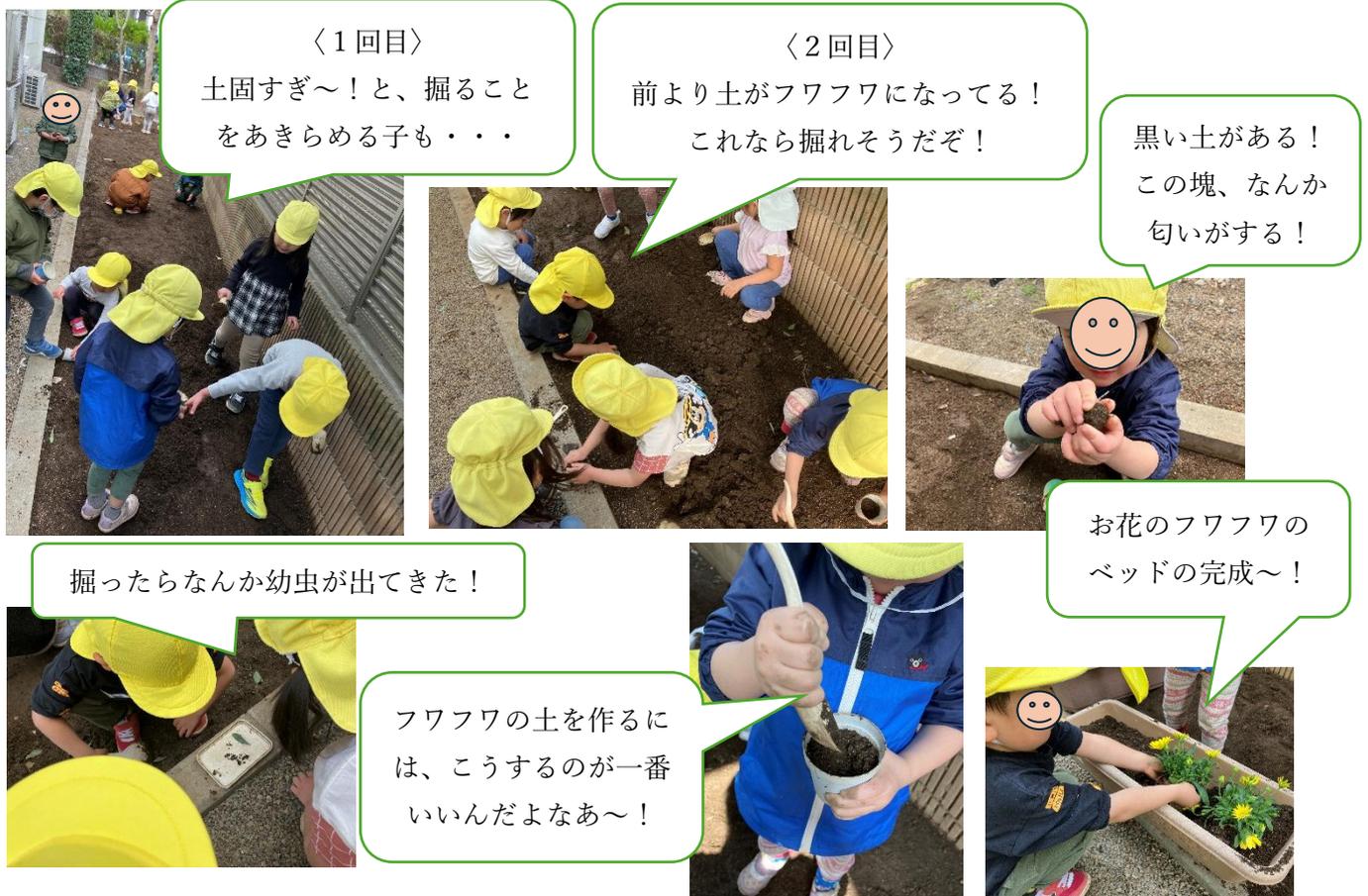
土の色が違うことを発見した子が、「どうしてこっちには茶色い（赤茶）土があるのに、あっちにはないの？」という疑問があり、数人で考え、「掘ったら出てくるかもしれない」という意見があった為、掘ってみたが赤茶の土は出てこなかった。保育者も分からなかった為、この疑問は解決しなかった。その他にも、黒や灰色の土があることや、「なんか匂いがする」と土の匂いに気が付いた子もいた。

1回目に行なった際に、団子を作ろうとして、自分の手のサイズより大きなものを作ろうとしたが、大きすぎて失敗に終わった。2回目に行なった際には、小さい団子を上手く丸めている子を見て、真似してやってみると上手く作ることが出来ていた。1回目の時は、子どもの力では崩すことが難しい固く大きな

塊だった為上手く丸まらなかったが、2回目はあらかじめ保育者が掘って柔らかくした土を使った為、上手く丸めることが出来ていた。“土の感じが違ったから上手く丸めることが出来た”ということは子どもは理解していなかったが、“小さく作ると上手く出来る”ということは理解した様子。

柔らかくなっている土の部分を友達と協力して、使う道具を考えながら深くまで掘り進めていった。保育者の手を借りずに自分たちだけで深く掘ることが出来て、喜ぶ姿があり、達成感を味わうことが出来ていた。掘り進めていくうちに、虫の幼虫を発見して、何の虫になるのか気になっている子がいた。育てるか逃がしてあげるかを自分たちで考え、かわいそうだから逃がすという意見が多かった為、逃がすこととなった。

赤茶) 土があるのに、あっちにはないの？」という疑問があり、数人で考え、「掘ったら出てくるかもしれない」という意見があった為、掘ってみたが赤茶の土は出てこなかった。保育者も分からなかった為、この疑問は解決しなかった。その他にも、黒や灰色の土があることや、「なんか匂いがする」と土の匂いに気が付いた子もいた。



〈1回目〉
土固すぎ〜！と、掘ることをあきらめる子も・・・

〈2回目〉
前より土がフワフワになってる！
これなら掘れそうぞ！

黒い土がある！
この塊、なんか匂いがする！

掘ったらなんか幼虫が出てきた！

フワフワの土を作るには、こうするのが一番いいんだよなあ〜！

お花のフワフワのベッドの完成〜！

振り返り

子どもたちの疑問が多く出てきた為、その場ですぐに調べることが出来るようにそばに図鑑を置いたりしていたら、その時にもっと興味関心が広がっていったかもしれない。土を部屋に持ち帰って、じっくりと調べることが出来る時間を設けてあげられると良かった。虫メガネや顕微鏡で細かな部分まで観察できると、更に砂と土の違いが発見できたのではないかと思った。保育者も土の色が違うことを知らなかった為、ヒントとなる声掛けは出来なかったものの、それが逆に子どもたちのイメージを膨らませて考えるきっかけとなったようだった。この活動後に土に関してのその後の活動を行なえずにいた為、次年度に引き継いでつながりのある活動を行なえるようにしていきたい。

一斉に活動を行なったわけではなく、個々のタイミングで参加しに来ていた為、それぞれの発見を皆へと共有する時間が必要だった。年度末にこの活動を行なった為、共有する時間を作ることが出来なかったのが反省点。

スコップがプラスチックで上手く掘ることが出来ずに諦めてしまう子ども中にはいた為、素材の異なるスコップが数本あっても良かった。